

## 新聞を校閲 学ぼう

新聞記事は正しく、分かる役割を担っています。

りやすくなければなりません。どんなに素晴らしい特ダネでも文字や言葉遣いが誤っていれば台無しで、読者の信頼は得られません。

記事に誤りや不備な点がないか調べ、修正する作業を校閲といいます。福島民報社では紙面管理部が担当しています。校閲担当者が「OK」を出さなければ新聞を印刷することはできず、ミスを防ぐ「とりで」

人名、地名といった固有名詞の誤りは論外ですが、「指令」と「司令」、「答える」と「応える」など読み方は同じでも意味が異なる言葉は多く、記者がパソコンの変

## ミス防ぐ最後の「とりで」

換ミスに気付かないまま出稿してしまうこともあります。校閲担当者は文脈に気を配りながら記事をチェックします。文字の表記

記事に用いる漢字の大部分は、常用漢字表に沿っています。昨年十一月には二十九年ぶりに常用漢字表が改定され、「頃」「貼る」「蹴る」など記事で使える漢字表記が増えました。ただ、読み方が難しかったり、意味がとらえにくい漢字もあり、各新聞社の判断で読み仮名付き、仮名書きなどのルールを決めています。

編集に関わる社員はルールを守るだけでなく、難しい言葉を分かりやすく言い換える努力を怠らないことも大切です。

紙面の一字一句を確認する校閲担当者

